

国家公務員採用上級試験について

—受験資格のある若い会員の方々のために—

谷 浦 英 男*

1. はじめに

人事院が国家公務員法に基づいて国家公務員の採用試験を行なうようになってから 10 数年経っており、この間主として大学卒業程度の方を対象とする上級試験—正しくは国家公務員採用上級(甲種・乙種)試験—を 18 回実施しています。

この試験のうち「土木」の区分(人事院では試験区分「土木」といっている)について、その概要を受験資格のある若い会員の方々に理解していただくために述べてみます。

2. 国家公務員としての土木技術者について

すでに説明しましたように(本誌 48 巻 6 号)、国土の有効適切な開発・保全を推進し、産業活動の発展と国民生活の向上をはかる……いわゆる「国づくり」という広範な分野において、土木技術者は重要な役割を果たしています。

では、国家公務員として土木技術者は職場のどのような部門においてその役割を果たしているかを見ますと、表-1 のようになっています。

表-1

時 点	部 門						計
	研究	計画	設計	施工	施工管理	行政	
採用当初	17	27	40	11	1	4	(100%)
10 年後	8	37	21	14	10	10	(100%)

土木学会大学土木教育委員会昭和 39 年度中間発表
「土木技術者の活躍と大学土木教育」より

このように、採用後 10 年くらい経つと、本省庁においては課長補佐として、また地方建設局等において課長として「国づくり」第 1 線の実質的なない手となり、研究所においては主任研究員として研究課題への取り組みもますます真剣となって、自己の能力を十分に発揮することができます。

3. 上級試験について

前述のように、重要な使命をもつ国家公務員として適する優秀な人材を選択する方法として、この上級試験は、受験資格のあるすべての国民に平等の条件で公開され、かつ、客観的に職務遂行能力が実証できるような合理的な方法で行なわれているということが特徴となっていま

*人事院 事務総局 任用局 試験第二課 試験専門官

す。

昭和 40 年度国家公務員採用上級(甲種・乙種)試験の試験区分「土木」についての概要をつぎ記述します。

(1) 試験の種類

試験の程度によって、甲種試験と乙種試験の 2 種があり、いずれも大学卒業程度のものである。

注：甲種試験は主として係長(研究所の上級研究員)クラスを、乙種試験は上級係員(研究所の研究員)クラスを対象としている。しかし、将来の昇進は本人の能力と努力によることになる。

(2) 受験資格

●昭和 7 年 4 月 2 日(乙種は昭和 11 年 4 月 2 日)から昭和 19 年 4 月 1 日までに生れた方は、学歴を問わず受験資格があるから、年令の該当する方は大学在学中でも受験することができる。

●また、年令を問わないが、①大学の学部を卒業見込みの方、または昭和 38 年 3 月以降に卒業した方、②大学の専攻科もしくは大学院に在学している方、または昭和 38 年 3 月以降に修了した方は甲種・乙種とも受験資格がある。

(3) 第 1 次試験

●試験の方法：

① 教養試験(問題は甲種・乙種共通で択一式);国家公務員として必要な教養および一般知能についての検査で、**教養の検査**は「社会科学、人文科学、自然科学」など高校・大学の各過程を通じて修得した一般知識について、**一般知能の検査**は「判断推理、文章理解、数的推理、資料解釈等」の知的能力をみるものである。なお、教養試験は法文系、技術系別に行なわれる。

② 専門試験(問題は甲種・乙種共通);専門的知識・能力・技術について、**第 1 部**では択一式、**第 2 部**では記述式によって行なわれる。

なお、出題分野はつぎのとおりで、これは採用官職の職務内容のほか各大学の教授要目等を参考にして決められており、問題の題材は基礎的なものが主体となっている。

(専門試験出題分野一覧)

- 第 1 部 数学、力学、水理学、測量、土木材料、土木施工、都市計画のほか
- (a) 河川、発電水力、港湾、道路、鉄道、橋梁、上・下水道
- (b) 河海、上水道、下水道、清掃施設、衛生(水質をふくむ)

(c) 地域計画, 河海, 交通計画・交通施設, 上・下水道のうちどれか1種を選択する。

第2部 (a)力学 (b)水理学 (c)コンクリートおよび土質のうちどれか2種

(d)河川 (e)港湾 (f)道路 (g)都市計画 (h)衛生のうちどれか1種, あわせて3種を選択する。

注: 試験問題を共通課題と選択課題とにわけたのは衛生工学, 都市工学, 交通工学の課程を修得した方の受験を容易にするためである。

③ 総合試験(甲種のみ);職務の遂行に必要な識見, 総合的判断力および思考力をもっているかどうかをみるもので, 記述式(論文)によって行なわれる。

●合格者の決定: 甲種, 乙種ごとに, 各試験の成績を総合して高点順に第1次試験合格者を決定するが, 各試験のうちどれか1つの試験で一定の合格点に達しないときは, その他の試験の成績が良くても不合格となる。

(4) 第2次試験

●試験の方法

① 口述試験: 個別面接試験が甲種, 乙種とも全受験者に対して行なわれ, 主として受験者の人柄, 性格等をみるものである。なお, 甲種の受験者には専門的知識についての理解度, 適応性をみるための簡単な口述試験が個別面接試験とあわせて行なわれる。

② 身体検査: 胸部疾患に重点をおいて通常の職務遂行に必要な健康度を有するかどうかみる検査である。

(5) 過去3カ年の上級試験実施状況

①

試験年度	昭和37年度	昭和38年度	昭和39年度
申込者数	1157	1442	1451
受験者数	956	1160	1197
最終合格者数	164	165	22

注: 左の数字は甲種, 右の数字は乙種を示す。

② 筆記試験(択一式) 得点概要:

試験の種類	昭和37年度	昭和38年度	昭和39年度
教養試験	出題数	70	70
	平均点	33.31	30.59
	最高点	59	58
	最低点	13	7
専門試験	出題数	70	70
	平均点	28.36	29.07
	最高点	54	57
	最低点	10	9

4. 試験合格者の採用について

試験の最終合格者は採用候補者として, 甲種および乙種の採用候補者名簿に高点順に記載されます。人事院は各省庁からの請求に応じて候補者の志望を考慮し, 候補者を成績順に推薦します。これを提示といっています。

各省庁では提示された候補者について10月以降に面接等を行なって採用者を内定します。採用内定者はおお

むね昭和41年4月に各省庁に採用され勤務することになります。

なお, 採用候補者名簿の有効期間は現在3年くらいとなっているので, 大学院など在学习中の方は希望によって提示を延期することができます。

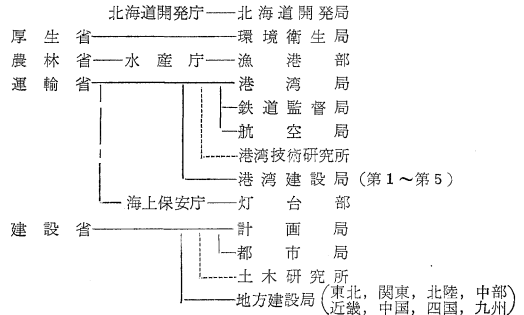
過去3カ年の提示状況はつぎのとおりですが, 採用されることを希望する者はほとんど採用されています。

省庁別提示結果一覧(昭和40年3月31日現在)

名簿の種類	甲種			乙種		
	昭和37年度	昭和38年度	昭和39年度	昭和37年度	昭和38年度	昭和39年度
確定年度						
候補者数	164	165	160	74	51	22
採用者数	92	97	75	31	15	5
会計検査院			1	2	1	
人事院	1					
北海道開発庁	4	5	3	2		
科学技術庁		1				
国立大学						2
厚生省			3			
農林省	2	1	1			
通商産業省		1				
運輸省	17	21	12	2		
労働省			1	1		
建設省	34	34	20	16	10	3
推薦						
日本道路公団	12	11	14	4	2	
首都高速道路公団	8	6	6	4	1	
阪神高速道路公団	6	10	7			
水資源開発公団	7	5	6			1
日本住宅公団	1	2	1			

注: 候補者数と採用者数との差は辞退, 提示延期等の数を示す。推薦とは人事院に対して推薦の依頼があり, 人事院から推薦した結果により採用された数を示す。

昭和39年度採用者の配属先一覧



注: 河川局, 道路局関係業務は地方建設局において実務研修

5. 採用者の給与

給与には俸給と諸手当があります。昇給を通常毎年1回となっていますが, 特に勤務成績のよい者には特別昇給の制度があります。諸手当には, 暫定手当, 初任給調整手当, 扶養手当, 通勤手当, 期末・勤勉手当, 超過勤務手当等があります。

上級試験採用者(土木)の初任給の一例をあげるとつぎのようになります。

給与の種類	甲 種				乙 種			
	行政職		研究職		行政職		研究職	
	採用時	おむね 1年後	採用時	おむね 3ヶ月後	採用時	1年後	採用時	1年後
俸給	7等級3号 19 610	6等級1号 21 780	3等級2号 20 210	3等級3号 21 450	7等級1号 18 580	7等級2号 19 610	3等級1号 18 980	3等級2号 20 210
暫定手当	1 020	1 160	1 020	1 100	960	1 020	960	1 020
初任給調整手当	2 500	2 000	2 500	2 500	2 500	2 000	2 500	2 000
通動手当	900	900	900	900	900	900	900	900
計	24 030	25 840	24 630	25 950	22 940	25 530	23 340	24 130

注：昭和 41 年 3 月大学の学部卒業の方の支給額です。なお、暫定手当は 6 大都市などに勤務した場合を示す。

●試験日時：

試験の種類	教養試験	専門試験第 1 部	専門試験第 2 部	総合試験
甲 種	7月17日(土) 9.00~12.15	7月17日(土) 13.10~16.50	7月18日(日) 9.00~12.10	7月18日(日) 13.10~16.30
乙 種	"	"	"	"

●受付期間：昭和 40 年 4 月 15 日 (木)~6 月 21 日 (月)

申込用紙請求および申込先	所在地および電話番号	管轄試験地
人事院札幌地方事務所	札幌市大通西 10 丁目 (4) 7334	札幌市・室蘭市
人事院仙台地方事務所	仙台市外記丁通 27 (22) 3050	仙台市・秋田市・盛岡市
人事院東京地方事務所	東京都千代田区霞ヶ関 1-2 (581) 1729	東京都・長野市・新潟市
人事院名古屋地方事務所	名古屋市中区南外堀町 6-1 (96) 6838	名古屋市・金沢市
人事院大阪地方事務所	大阪市東区法円坂町 (941) 2121	大阪市・京都市
人事院広島地方事務所	広島市上八丁堀 6-82 (2) 3748	広島市・松江市・岡山市
人事院高松地方事務所	高松市天神町 1-9 の 1 (3) 4765	高松市・松山市
人事院福岡地方事務所	福岡市舞鶴 2-5-10 (74) 7732	福岡市・熊本市・鹿児島市

昭和 40 年度 (第 8 回) 技術士本試験について

標記の試験が下記のとおり行なわれますのでお知らせ致します。詳細は 4 月 15 日付官報または科学技術庁振興局振興課 (東京都千代田区霞ヶ関 3 の 4・電 581-5271, 1356) へお問合せ下さい。

筆記試験：1965 年 8 月 25 日 (水)~26 日 (木) のうちいずれか 1 回

口頭試験：1965 年 10 月 22 日 (火)~22 日 (金) までの間

書 評

アース ドリル基礎工法

種 池 谷 実 共著 鹿島研究所出版会刊
田 太 郎

最近の都会地における基礎工事では、近隣に対する影響を少なくするために、無騒音、無振動の工法が要求されることが多くなった。完全に無騒音であるというものはないであろうが、少なくとも騒音や振動を軽減する方向へ向っていて、この線に沿った新工法を採用し始められた。しかしこの種の無騒音工法もまだ経験が浅く、現在はやむを得ず採用している場合も多いであろう。この時期にあってわが国にアースドリル工法を導入されて、開発を行なわれた著者が、無騒音工法の 1 つである本工法の解説書を出された意義は大きいものと考えられる。

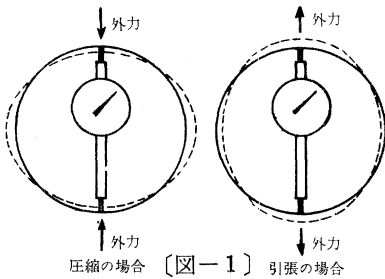
本書はまず各種基礎掘削機工法のうちで、アースドリル工法の意義を述べ、つぎに本工法の施工法および施工

機械の解説を行ない、さらに孔壁保護のためのベントナイト泥水について説明し、コンクリート打設上の諸問題について述べている。また施工例や本工法による基礎の設計法を述べ、実用の便に供している。

付録にはアースドリルの取扱い法と載荷試験を含めている。この種工法を計画される設計者、現場技術者にとって良い参考書となろう。

著者：種 谷 正会員 工博 鹿島建設KK取締役
池 田 鹿島建設KK建築部
体裁：A 5 判 132 ページ 定価：600 円 送料：80 円
鹿島研究出版会：東京都港区赤坂水川町 9 振替 東京 180883
[東京大学 渡辺 隆・記]

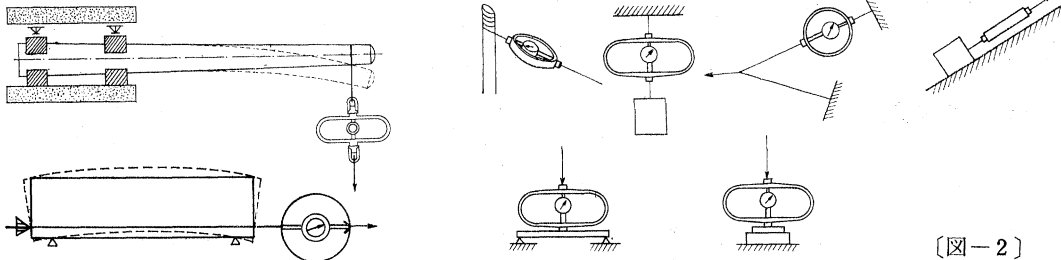
試験機紹介のページ



力量計測(マルトー・リングによる)

マルトー・リングは高弾性鋼の力量計で、弾性体が荷重を受けたときのたわみをダイヤル・ゲージ、あるいはマイクロメーターによって測定します。(図-1 参照)

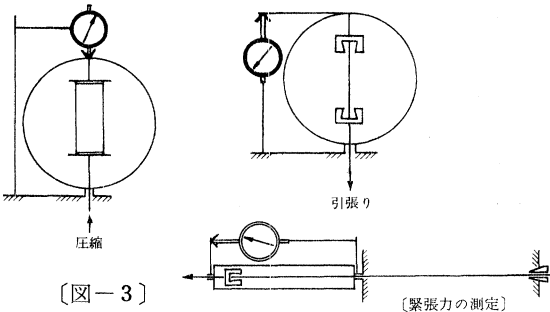
マルトー・リングは材料試験機の検定にも使用し得る精密な力量計ですが、構造が単純で取扱い易いため、数多くの測定器に利用されています。即ち、大別しますと引張力と圧縮力の2種ですが、これより振り力、曲げ力、物体の積載量等の測定に応用されます。(図-2 参照)



マルトー・リングはすべて検定公差 0.5% (1/200) 以内に規正してあるため常に正確な力量の計測を行うことができます。

以上は力計の外側を利用した使用法ですが逆の場合も可能です。これは弊社が特許権を有する斬新な考案です。すなわちリングのボス部に貫通孔を設けてリング内側で供試体の試験が行なえるようにした機構です。(図-3 参照) この方法はダイヤルゲージが、リングの内部より外側に出ますし、供試体も小さくなりますが利用法によっては一般の力計以上の機能を発揮します。

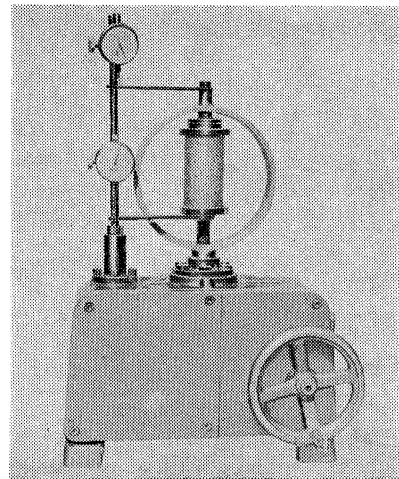
写真はリング式圧縮(又は引張)試験器 S C-06 (Patent No. 261769)。本器には供試体の歪量測定用ダイヤルゲージが増設されております。手動式は容量 5 ton まで、それ以上は電動式となります。



力計を利用した場合の計測について特に注意すべき点

- ① 読み量読み取りに使用するダイヤル・ゲージは互換性がありません。従ってその取扱いには、充分注意し、運搬するときは強い振動や衝撃などを与えぬようにしなければなりません。
- ② 力量測定中に供試体が急速に破断する場合、ダイヤルゲージのスピンドルがリングの撓み復元力により急激に押し戻されますと破損します。従ってダイヤルゲージはリングの撓みにより急激に押し戻されぬ側に装着しなければなりません。

[注] マルトー・リングについては本誌 Vol. 47・11 も御参照下さい。



株式会社 丸東製作所

本 社・東京都江東区深川白河町2の7
電話 641-2661, 7749, 8735, 1090
京都出張所・電話 京都(84) 7 9 9 2
北海道出張所・電話 札幌(23) 0 4 0 9